



青い空 緑の山と風
黄色のうねりは
人類の理想 文化を表わす。
それらが混然一体調和して
ロータリーの理想に向って
昂って行く姿を示している。



Weekly Report

クラブの標語 **“奉仕の実践”**

…行動する多摩グリーン…

会長就任挨拶

会長 遠藤 二郎

新年度を担当致します遠藤でございます。改めまして、宜しくお願ひ申し上げます。

申し上げるまでもなくクラブ役員任期は、一年のみの回り番でございます。決して他人事ではありませんことを申し上げて重ね重ね、ご協力とご指導のほどお願ひ申し上げます。

本年度活動方針はお手許に配布致しました、計画書に詳細に記載されておりますので、ご自分の担当委員会以外についても、ひととおりの、お目をとうされておいていただけたら幸いに存じます。

さて、本年度当クラブは

“奉仕の実践”

…行動する多摩グリーン… をテーマと致しまして平常年度の、ロータリークラブ本来の奉仕活動に、落ち着いて取り組んで参りたいと思います。

当クラブは、創立以来5年、会員の皆様と関係諸先輩のご協力により、近隣クラブの羨望の的と成る程、立派なクラブに成長することができました。

また、歴代会長幹事、役員理事のご努力により、親睦の在り方、クラブ奉仕の流れ等々、更にクラブ運営の基礎となる定款、細則の整備もされました。

昨年度は5周年記念事業として、チャリティコンサート開催、創立5周年記念式典も大過なく開催することがで

きました。

さて、これから世紀を越えて続くでありましょう多摩グリーンロータリークラブに於いて、将来歴史的位置付けをされる時、これまでの5年間を創立期であるとするならば、6年目の本年度からは、成長発展期と分類されるであろう事を想定して、本年度に於いても活動計画を確実に実施していかなければならないと考えます。具体的には各委員会に於いて、活動計画が綿密に立案されておりますが、特に本年度は例会場の移転を契機に、奉仕の源泉と言われるクラブ例会のプログラム内容の充実に務め、更に有意義な例会が開催できればと考えます。

次に、職業奉仕の分野においては、企業懇談会或いは経営相談会等を定期的に開催し、会員企業の情報交換並びに精神的支援をしよう事ができるならば、会員企業相互の発展に寄与でき、取りたてて効果を測定することは不可能ではありますが、クラブ発展の原動力になると確信致します。

次に本年度特に重点を置かなければならない活動としては、会員増強があります。ちなみに前年度最終理事会において、4名の退会が承認されました。これを受け本年度当クラブは会員50名をもってスタートすることになります。

会員増強はロータリーの「奉仕の理想」を広める手段として最も重要であり、ロータリー運動発展の根幹を成すものであると考えます。

会員増強は本来、ロータリアンの責務であり、会員が個々に積極的に取り組むべき事柄であって、増強委員会からことさらお願ひされて行動する事では無いと認識すべきことと考えます。また、当クラブの純増率推移からも本年度の重点課題としなければ成らないと考えます。

思い起こせば私たちは、それぞれが先輩ロータリアンに推薦していただき入会したのであり、自分が入会してしまえば、他の人には勧めない、などという考え方はロータリアンとして如何なものでしょうか。

その様な理由からも入会以来、特に今だ推薦実績の無い会員も積極的に、少なくともひとりご一人を推薦して、義理を果たさなければと考えます。

東京多摩グリーンロータリー・クラブ

会長：遠藤 二郎 副委員長：田畑 博
幹事：須藤 起雄 委員：大松誠二・伊藤英也・村上久
会報委員長：小坂 一郎 杉野志保子・山崎光一

事務局：東京都多摩市落合1-43
京王プラザホテル多摩 561号
TEL 0423-72-6463/FAX 0423-72-6491

例会場 京王プラザホテル多摩（たまつばき）

例会日 毎週水曜日12:30 月の最終例会18:30

会員一人がそれぞれ、一人を推薦していただければ、来年の今日は、例会場を大ホールに移して、盛大に新年度初例会を開くことができるのではないかと思います。

さて本年度R I・ルイス・ビセンテ・ジアイ会長は、

「築け、未来を～行動力と先見の目で」とメッセージを送られています。

私たちロータリアンは未来に対する夢を実現する為に、まず堅固な土台を作ること、生きている組織として、私たちの柱は行動の上に打ち立てられる。またロータリーの真価は私たちが如何に行動するかにかかっている。更に、行動は言葉より雄弁であり、未来を築く唯一の方法であると述べられています。

本年度、当クラブはこのR I会長メッセージに応え、着実に、絶え間なく「行動する多摩グリーン」で在りたいと考えます。

さて本年度の活動方針について縷縷申し述べて参りましたが、各委員会を担当して頂く各位にあっては、平素地域の要として、それぞれ活躍されている方々ばかりであり、活動計画実施に当たっては、期待以上の実績を挙げて頂けるものと思います。

各委員会におかれましては、多摩グリーンの96～97年度の担当者として、当クラブ史に確たる奉仕実績を残されんことを切望して止みません。

最後に、我々がロータリークラブの会員として在籍する以上、ロータリーを学び、この運動の精神を正しく理解して、地域社会において奉仕活動を実践していくことが、ロータリアンとしての責務であり、まず行動を起こし、実践することが望まれます。

仮にも他の会員の奉仕実績で輝いている、ロータリーバッジを着用するようなことにいよう会員自身、各々「奉仕の実践」を心掛けたいものです。

本年度も会員相互の親睦が更に深まり、多摩グリーンが益々発展することを祈念致しまして、新年度のスタートのご挨拶と致します。

幹事の任務

1996～97年度 幹事 須藤 起雄

創立5周年祈念事業も終え1996～97年に入りました。歴代の会長、幹事、また役員・理事、会員が築き上げたすばらしい当クラブは、皆様方の御尽力の賜物と感謝申し上げます。

前年度は副幹事として1年間を過ごさせて頂き、大変勉強になったと思っております。

本年度は幹事という大役を仰せつかり、重大な責任を感じております。幹事の役割は、定款・クラブ細則にもとづき、会長を補佐するものであります。本日よりの1年間徹底して補佐役を勤めたいと考えております。

本年度のR Iテーマ“築け未来を行動力と先見の眼で”と同時に当クラブ方針である“奉仕の実践”…行動する多摩グリーン…による活動計画の実施、特に会員増強と出席率の向上は永遠の課題と思われませんが、この遠藤年度の目標達成に全力を尽くして役割を真摯に果たしたいと思います。

またロータリークラブの活性化は、幹事によって左右されるといわれますが会員皆様方の協力が得られなければ活性化につながりません、何れにしてもロータリーの知識、経験がまだ浅く迷惑をかけると存じますが、クラブ活性化の為積極的な例会出席と皆様方全会員の御協力をお願い致しますと共に御支援とご指導宜しくお願い致します。